

身体所見による循環器疾患の 病態評価、再入院や死亡頻度の予測についての検討

京都府立医科大学循環器内科では、入院された患者さんを対象に身体所見と心臓疾患の病状、重症度、予後との関連を調べる臨床研究を実施しております。

実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

身体所見(聴診、触診、視診)は心臓疾患の患者さんの診察において、過去から現在にいたるまで最も基本的な病状の評価法であります。検査技術や病気の原因解明が進歩したり、社会環境の変化(高齢化、グローバル化など)によって心臓病の種類、評価基準、とらえ方は時代とともに変化してきました。身体所見が心臓病の病状や予後进行评估する手段として現在においても有用であることを検討することは、より効率的で患者さんの負担の少ない診療を進める上でも大切です。そこで今回は循環器内科にご入院された患者様の血液検査、心エコー図検査、カテーテル検査、脈波検査、肝硬度検査や再入院、死亡などの頻度と身体所見との関連について検証したいと考えています。

研究の方法

・対象となる方について

2012年1月1日から2022年12月31日までの間に、京都府立医科大学循環器内科に入院され心音心機図検査を受けられた方

・研究期間：医学倫理審査委員会承認後から2025年3月31日

・方法

当院循環器科に入院中に心音心機図検査を受けられた方で、診療録(カルテ)より以下の情報を取得します。

・研究に用いる試料・情報について

情報：年齢、性別、身体所見、診断名、血液検査値、心エコー図検査値、カテーテル検査値、体組成計検査値、脈波検査値等、心音心機図検査等

・個人情報の取り扱いについて

患者さんの測定結果、カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理

されており、第三者が立ち入ることができません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学 リハビリテーション部 講師 白石裕一）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

保存した情報を用いて将来新たな研究を行う際の貴重な情報として、前述の保管期間を超えて保管し、新たな研究を行う際の貴重な情報として利用させていただきたいと思えます。新たな研究を行う際にはあらためてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

研究組織

研究責任者

京都府立医科大学 リハビリテーション部 白石裕一

研究分担者

京都府立医科大学循環器内科学 栗本律子

京都府立医科大学循環器内科 金児奈瑠香

お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年2月28日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学リハビリテーション部

講師 白石裕一 電話：075-251-5511(循環器内科医局)

受付時間：平日9時～17時